



伊那弥生ヶ丘高校図書委員会

丁寧な暮らしをする餓鬼 鹿児居士

餓鬼とは、人間が生まれ変わり、死に変わりを果てしなく繰り返す世界である「六道(ろくどう)」の中にある「餓鬼道」に生まれた者のこと。餓鬼は飢えと渇きに苦しみ、食べ物は食べられず、骨と皮ばかり。ヨロコビした日とヨロシキ出たお腹で、いつもお腹を空かせています。

この本に登場する餓鬼である「ガッキー」はとても優しくおちゃめです。そんなガッキーが送る『丁寧な暮らし』を見ていませんか？漫画なのでとても読みやすいです。活字に疲れてしまったらぜひ読んでみてください。

後期(になり)  
三役・委員が  
変わりました。  
今後とも図書館  
図書委員会を  
よろしくお願ひ  
します。

マスカレード・ホテル 東野圭吾著

ある連続殺人の次の現場に選ばれたのはホテルコテルシア東京という都内の高級ホテルだった。そのホテルで起きた殺人事件を未然に防ぎ、犯人を逮捕するためにホテルの使用人に刑事たちがなりますことになった。フロントクラークの山岸尚美の仕事はお客様の仮面を守ること。刑事である新田の仕事は相手の仮面をはがすこと。はたして新田刑事はフロントクラークの仕事をしながら犯人のついている仮面をはがして逮捕することができますのか。

宇治拾遺物語 町田康訳

この本は鎌倉時代初期に成立した宇治拾遺物語を、大阪出身の町田康さんが自身の関西弁や日常的に使われるような話し言葉で現代語訳した本です。古典作品として宇治拾遺物語の名前をきいたことがある人は多いと思いますが、現代語訳されたものは物語として読んだことがある人はあまり多くないのではないか？ この本の訳はとてもわかりやすく、古典が苦手な人でも気軽に読むことができます。「こふ」とりじいさんや「絵仏師良秀」などの有名な話もたくさんので、興味のある人はぜひ手に取ってみてください。

クスノキの番人 東野圭吾著

住居侵入・器物損壊・窃盗未遂で逮捕され、刑務所に入りそうになった井玲斗を救ってくれたのは、ヤナッソ・コーポレーションの顧問である柳澤千舟。彼女から命じられたのは月郷神社の中にいる大きなクスノキの管理人という役割だった。そのクスノキには不思議な力があり、新月の日に祈念するとその念を何十年となくわえ、血縁者ならば満月の日にその念を受念することができる。その念は受念した人の人生にどう影響していくのか…。

魔力の胎動 東野圭吾著

父である関明大学医学部に所在する脳外科医の羽原全太郎により脳に特殊なチップをうめこまれ、風が止めるようになった娘の羽原円華。その能力を手に入れたため、次にどんな現象が起きるか予測できてしまう。予測とともに風にまつわる事件や悩みを自由気ままに行動し解決していく。彼女の手によって解決された人の人生は幸いになるのか不幸と転じてしまうのか…。

沈黙のパレード 東野圭吾著

静岡県でおきた放火事件現場から二人の白骨化死体が発見された。その白骨化死体のうちの一人が三年前に失踪し、行方不明となっていた並木佐織の骨だった。その放火された家の持ち主は23年前の少女殺人事件で逮捕されたが、黙殺をつらぬき無罪となつた男だった。驚くべきことに、自分で家に火をつけたというのだ。なぜ男は自分の家に放火したのか。その男が犯人だと思った佐織の家族、関係者たちはその男の殺人へと動きだす。その男は殺すことが復讐になるのか…。